

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集

説明会資料

アジェンダ

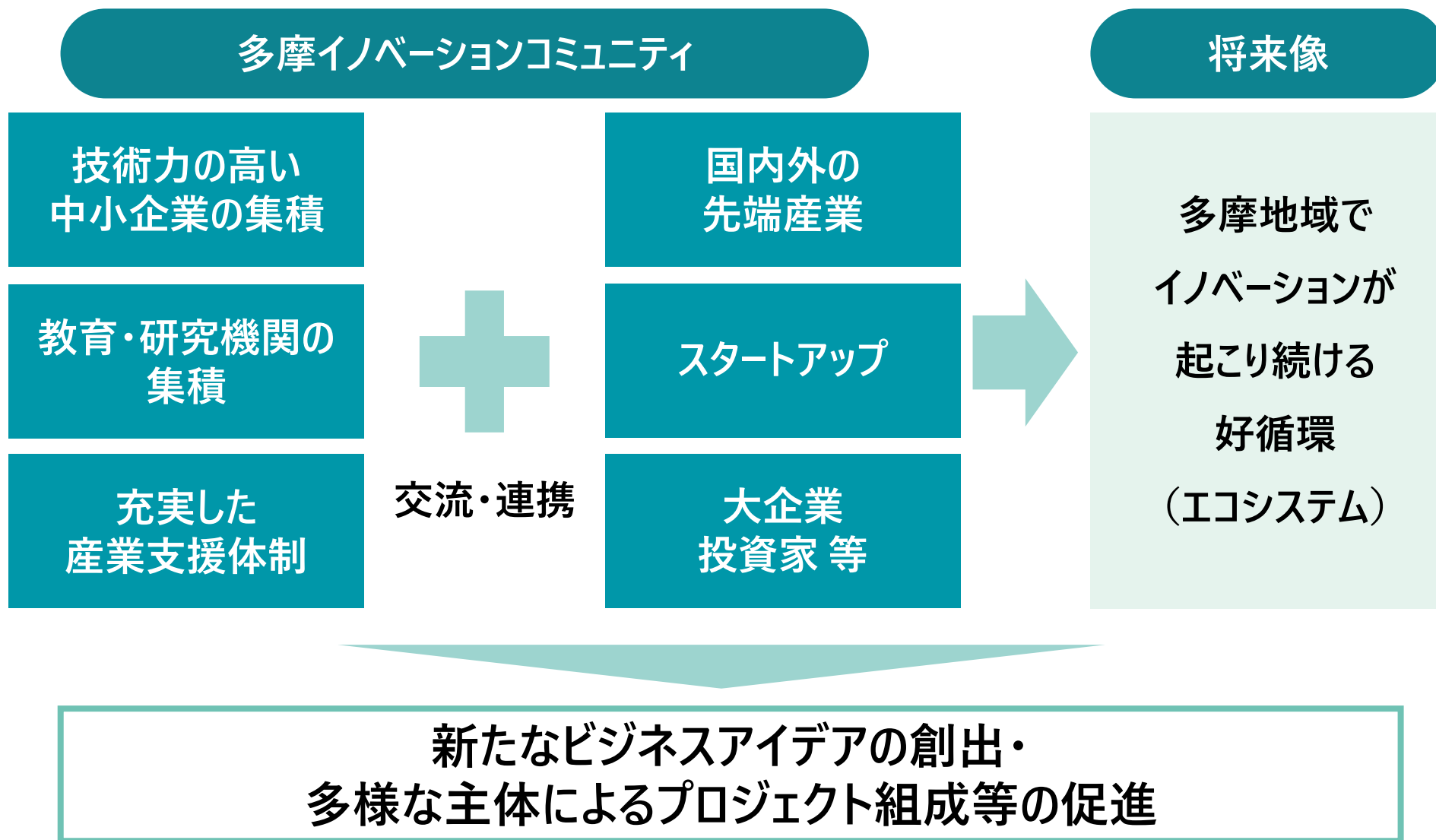
1. ビジネスアイデア募集の説明

2. 応募様式の説明

3. QA

1. ビジネスアイデア募集の説明

多摩イノベーションコミュニティの目的



多摩イノベーションコミュニティの本年度の取り組み

【第1回】ビジネスモデル策定ワークショップ



【第2回・3回】アイデア創出ワークショップ



コミュニティ活動のコミュニティ活動のアウトプットの機会として、 「多摩地域の課題解決に向けたビジネスアイデア」を募集します！

募集概要

応募資格

- ・本コミュニティの会員（入会申込中含む）であること
- ・代表者は中小企業（スタートアップ含む）であること 等
（連携事業者は中小企業に限らない）

要件

- ・本事業の定める重点テーマのいずれかに該当すること
- ・多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- ・ビジネスアイデアの提供価値が顧客にとって有益であること
- ・多摩地域へのインパクトが期待でき得る、新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- ・（研究開発中の技術を活用したビジネスアイデアの場合）
研究開発完了に向けた技術課題とその解決見込時期が明確化していること

※1社単独ではなく、複数の企業等により取り組む想定
のビジネスアイデアであること

<ビジネスアイデア例>

- DX推進による医療のオンライン化
- AIを用いた技能人材の継承・拡大



6件程度の優れたビジネスアイデアを選定し、ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行う

1. ハンズオン支援

以下の計画策定支援等を行う

- ① ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ② ビジネスアイデアの壁打ち
- ③ 必要な連携先とのマッチング支援
- ④ ワークショップ※等と連携した事業構想のブラッシュアップ支援

※本コミュニティにて、令和5年度11月以降に開催を予定しているワークショップ

2. 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1プロジェクト当たり最大100万円（税込）を支援する

2. 支援機関

令和5年11月中旬～令和6年3月まで

支援内容

募集要項「1 定義」

1. 定義

本募集要項における用語の定義は、以下の通りとします。

本事業	令和5年度多摩イノベーションエコシステム促進事業									
事務局	本事業において、ビジネスアイデアの募集・選定、支援を行う者									
多摩地域	東京都のうち23区と島しょ部（伊豆諸島及び小笠原諸島）を除いた30市町村（26市3町1村）									
本コミュニティ	多摩イノベーションコミュニティ									
ビジネスアイデア	複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）が連携して取り組むビジネスアイデア									
ビジネスアイデアチーム	同じビジネスアイデアの実現に向けて連携を想定している複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）から構成されるグループ									
重点テーマ	<p>多摩地域の社会的な課題や企業の特徴を捉え、イノベーション創出に向けて設定した、優先的に取り組むべき9つのテーマ （「多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針」より）</p> <table border="1"> <tr> <td> 環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要 </td> <td> 健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展 </td> <td> 子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要 </td> </tr> <tr> <td> 安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が激甚化 </td> <td> 観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要 </td> <td> 物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題 </td> </tr> <tr> <td> コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化 </td> <td> ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要 </td> <td> 人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要 </td> </tr> </table>	環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要	安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題	コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要
環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要								
安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題								
コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要								
応募者	ビジネスアイデアチームの構成者のうち、主たる企業として応募・運営・管理を行う事業者のことであり、中小企業（スタートアップを含む）とする。									
ワークショップ	本コミュニティにて開催しているワークショップ https://tama-innovation-ecosystem.jp/event/									

ビジネスアイデア

複数の企業等が連携して取り組む想定であること

重点テーマ

多摩地域の特徴や課題・産業の特徴を踏まえて設定している

詳細は「多摩イノベーションエコシステム形成に向けた取組み方針」をご参照ください

https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/chushou/ho-nnbunn_tamatiikiinobe-syon.pdf

募集要項「2 ビジネスアイデアの要件」

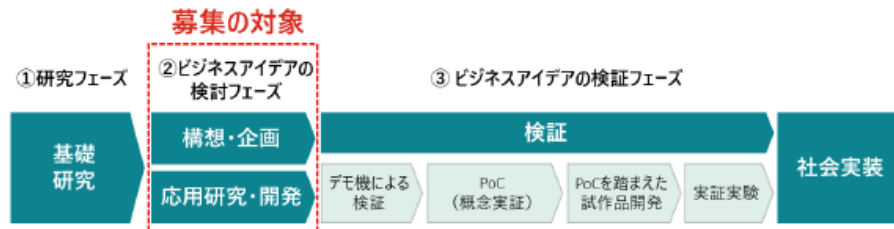
2. ビジネスアイデアの要件

募集するビジネスアイデアは、ビジネスアイデアチームによる取り組みであることを前提として、以下の要件をすべて満たすものとします。

- (1) 重点テーマのいずれかに該当するビジネスアイデアであること
- (2) 多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- (3) ビジネスアイデアの提供価値が顧客にとって有益であること
- (4) 多摩地域へのインパクトが期待でき得る、新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- (5) (研究開発中の技術を活用したビジネスアイデアの場合) 研究開発完了に向けた技術課題とその解決見込時期が明確化していること

下記の「②ビジネスアイデアの検討フェーズ」(ビジネスアイデアの構想・企画や、それに伴う応用研究・開発を実施するフェーズ)のものを募集の対象とする。

<一般的な製品・サービス開発の流れ>



(2) (3)
多摩地域における社会課題に対して有益な価値を提供すること

(4)
新規性・独自性のあるソリューションであること

ビジネスアイデアの検討フェーズのものを対象とする
(市場ニーズ等を踏まえて、企画・構想およびそのための応用研究開発を実施するフェーズ)

募集要項「3 応募資格」

3. 応募資格

以下の要件をすべて満たすものとします。

- (1) 応募者及びビジネスアイデアチームは本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- (2) 応募者は、中小企業※（スタートアップを含む）とする
- (3) 応募者及びビジネスアイデアチームは次の①～④のいずれにも該当すること
 - ① 法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
 - ② 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
 - ③ 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成 23 年東京都条例第 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がいないこと
 - ④ その他、事務局が本プログラムを提供するにふさわしくないと判断する業務等を有さないこと

コミュニティ会員

コミュニティ会員でない企業様については、応募締め切りまでに、コミュニティ入会申し込みが必要となります

応募者

中小企業（スタートアップを含む）が代表に立っていただく必要があります



コミュニティ入会メニュー

募集要項「4 支援内容」

4. 支援内容

応募があった中から、**6件程度の優れたビジネスアイデアを選定**し、事務局からビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行います。

(1) ハンズオン支援

ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の計画策定支援等を行う。

- ① ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ② ビジネスアイデアの壁打ち
- ③ 必要な連携先とのマッチング支援
- ④ ワークショップ※等と連携した事業構想のブラッシュアップ支援

※ 本コミュニティにて、令和5年11月以降に開催を予定しているワークショップ

ハンズオン支援

次年度以降の事業者のアイデア実現に向けた取り組みを加速化させるための支援を提供

(2) 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1プロジェクト当たり最大100万円（税込）を支援する。

<対象費目>

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費（テストマーケティング等）、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザーに対する委託・外注・謝金費用（例：法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁理士に対する謝金等） プロトタイピングにかかる委託・外注費

費用支援

人件費は支援対象外

募集要項「5 支援期間」

5. 支援期間

令和5年11月中旬から令和6年3月まで

募集要項「6 応募方法」

6. 応募方法

応募者は、下記応募書類を提出期限までに事務局（「10.問い合わせ先」記載のメールアドレス）まで送付してください。事務局より、受付完了メールを数営業日以内に返信しますので、ご確認ください。なお、応募者につき、応募は1件までとします。（**提出期限 10月4日（水）正午【必着】**）

なお、メールに応募書類を添付できない場合は、ファイル共有ツールのダウンロード先リンクを事務局までお送りください。提出期限後の提出資料等の差し替えには応じられません。

No	資料名	記載事項
様式1	エントリーシート	・応募事業者名、所在地、連絡先等を記載
様式2	提案書	・「提案書フォーマット」を参照の上、プロジェクトの概要、課題解決性、ビジネスモデル仮説等を記載 ・パワーポイント形式、フォントサイズ12pt以上、A4横、7枚まで
様式3	経費算出書類	・希望する対象費目（事業費、委託・外注費）、金額等を記載

応募方法

応募者が、提出期限までに応募書類を事務局へ送付

<応募書類>

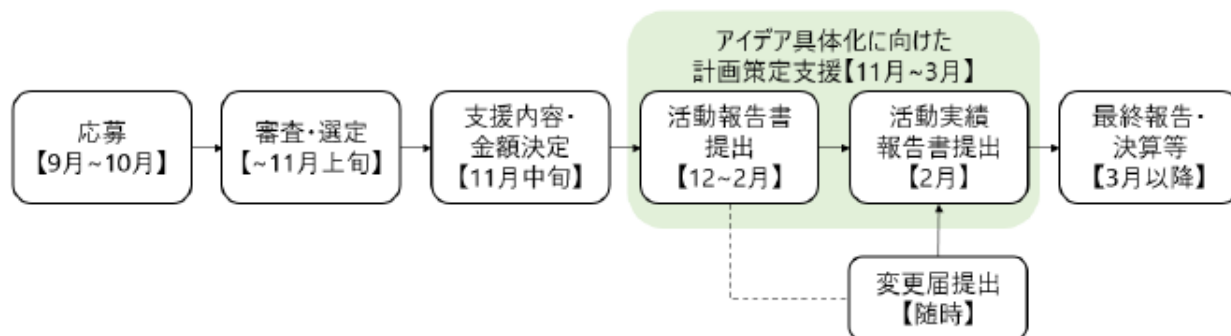
様式1 エントリーシート

様式2 提案書

様式3 経費算出書類

応募者およびビジネスアイデアチーム
当たり応募は1件まで
連携事業者としてであれば、複数の
ビジネスアイデアチームでの関与も可能

<応募から支援までのスケジュール等>



募集要項「7 審査・選定方法」

7. 審査・選定方法

(1) 審査の観点

以下の観点で審査を行う。

- ① 事業趣旨との合目的性
- ② 課題解決性
- ③ 新規性・独自性
- ④ 実現可能性

(2) 審査方法

① 書面審査

提出された書面に基づき、事務局にて書面審査を行う。

提案が「1 ビジネスアイデアの要件」「2 応募資格」に合致しているかを確認し、合致している提案に対し、書面審査を行う。審査の過程で、事務局から応募内容に関して追加の説明や資料の提出を求めることがある。

② プレゼン審査

書面審査を通過した提案について、11月上旬を目途に口頭プレゼンテーションと質疑応答を実施する。

審査方法

審査員（外部有識者含む）による審査を実施

結果通知

令和5年11月中旬以降、応募者全員に結果を通知

(3) 選定結果通知

11月中旬以降を目途に応募者全員に結果を通知する。

なお、選定過程は公表しない。また、審査結果についての異議申立は受け付けない。

募集要項「8 説明会」

8. 説明会

本募集要項に関する説明会を実施する。

回数	日程	時間	開催方法	申込期限
第1回	令和5年9月11日(月)	11:00~12:00	オンライン 開催	各回当日
第2回	令和5年9月15日(金)	11:00~12:00		9時まで

(1) 申込方法

以下の URL より上記申込期限までにお申し込みください。(1事業者当たり2名まで)

<https://forms.office.com/e/X09RiF7iy3>

(2) 質問事項

説明会当日の席上、または説明会后メールにて受け付ける。受け付けた質問事項のうち、特定の参加者に関しない一般的な内容に対する回答は、全ての参加者に対して開示する。

説明会の内容はどちらの回も同様であり、応募にあたって説明会への出席は必須ではないが、可能な限り参加を推奨。参加の有無は審査結果に影響しない。

9/15(金)も同様の内容で予定

募集要項「9 留意事項」

9. 留意事項

- (1) 応募者は応募時に入力するビジネスアイデアや個人情報について、以下を承諾するものとする。
- ✓ 応募時に入力する個人情報は、本事業の範囲内でのみ利用すること。
 - ✓ 応募様式の提出をもって、入力した個人情報が上記の利用目的の範囲内で、審査員（外部有識者含む）に提供されることに同意したものとみなされること。
 - ✓ ビジネスアイデア内容などについて、ノウハウや営業上の秘密事項、特許事項などについては、法的保護を行うなど応募者の責任で対応することとし、本コミュニティでの法的保護は行わない。

アイデアの内容について

本コミュニティでは法的保護等を行わない

(2) ビジネスアイデア選定後について

- ✓ 計画策定の際に発生した損害（計画策定に必要な事前トライアル等により発生した損害など。第三者に及ぼした損害を含む。）については、応募者及びビジネスアイデアチームがその費用を負担すること。
- ✓ ビジネスアイデアの具現化に向けた計画策定支援において発生した知的財産権等は、応募者及びビジネスアイデアチームに帰属する。
- ✓ 選定された応募者及びビジネスアイデアチームは、事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等に協力すること。

選定後に必要なこと

- 事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等への協力

今後の流れ

応募方法・提出期限

- ◆応募方法：事務局のメールアドレス宛に、応募書類を送付してください
- ◆提出期限：10月4日（水）12時00分（正午）まで【必着】

2. 応募書類の説明

応募様式 「様式1 エントリーシート」

※黄色箇所にご記入ください

様式1

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集
- エントリーシート -

令和 年 月 日

(提出期限：令和5年10月4日(水)12時)

「多摩イノベーションエコシステム促進事業」事務局
有限責任監査法人トーマツ 行

事業者名 ○○
氏名 ○○

事業者名	○○		
所在地	○○○○		
ホームページ	○○○○		
部署	○○部	電話	○○-○○○○-○○○○
担当者氏名	○○	メールアドレス	○○@xxxx

応募者の情報を記入
(黄色箇所)

当社は、応募者として、以下の応募資格の要件をすべて満たしていることを確認しました。

- (1) 当社及びビジネスアイデアチームは、本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- (2) 当社は中小企業*（スタートアップを含む）であること *中小企業の定義は募集要項参照
- (3) 当社及びビジネスアイデアチームは次の①～③のいずれにも該当すること
 - ①法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
 - ②公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
 - ③显力団（東京都显力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「显排条例」という。）第2条第2号に規定する显力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に显力団員等（显力団並びに显排条例第2条第3号に規定する显力団員及び同条第4号に規定する显力団関係者をいう。）に該当する者がいないこと

• 応募資格の要件をすべて満たしていることを確認（満たしていることを確認した項目について、☑を入れる）

応募様式 「様式3 経費算出書類」

今年度の活動の中で使用する想定の事業費を記載

事業費の中で費用支援を希望する費目に○をつける

大項目	No	小項目※	詳細	単価	数量	単位	計(税抜)	消費税(10%) (10%以外の場合は手入力)	計(税込)	費用支援を希望する費目
事業費	1	マーケット調査費	○○に関する市場調査レポート購入費	300,000	円	1 個	300,000	円 30,000	円 330,000	円 ○
事業費	2	データ収集費	○○に関するデータ収集にかかるシステム利用費	50,000	円	3 回	150,000	円 15,000	円 165,000	円 ○
委託・外注費	3	プロトタイプング費	MVP作成のための委託費用	500,000	円	1 回	500,000	円 50,000	円 550,000	円
委託・外注費	4	謝金	○○に関するコンサルティング費用	450,000	円	1 回	450,000	円 45,000	円 495,000	円 ○
	5				円		0	円 0	円 0	円
	6				円		0	円 0	円 0	円
	7				円		0	円 0	円 0	円
	8				円		0	円 0	円 0	円
	9				円		0	円 0	円 0	円
	10				円		0	円 0	円 0	円
合計							1,400,000	円 140,000	円 1,540,000	円

※小項目の記載内容は募集要項を参考とするが、項目はこれに限らない

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費(テストマーケティング等)、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザーに対する委託・外注・謝金費用(例:法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁理士に対する謝金等) プロトタイプングにかかる委託・外注費

総合計 1,540,000 円
費用支援を希望する費目合計 990,000 円

応募様式 「様式2 提案書フォーマット」

- フォーマットの項目に沿って作成頂く
(最大7枚)

5. その他 (参考資料)

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援 審査の観点 ④実現可能性

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション 審査の観点 ③新規性・独自性
④実現可能性

2. 対象とする社会課題 審査の観点 ②課題解決性

1. ビジネスアイデアの概要 審査の観点 ①事業趣旨との合目的性

重点テーマ	<9つの重点テーマ※1から1つを選択して記載してください。>
要旨	<ビジネスアイデアの要旨が一言で分かるような文言 (タイトル) を記載してください。>
社会課題	<ビジネスアイデアの対象とする社会課題の内容について、簡潔にご記載ください> ※ <P2で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
提供価値	<上記社会課題を解決するためのビジネスアイデアの提供価値について簡潔にご記載ください> ※ <P3の上段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
ソリューション	<上記の価値を提供するためのソリューションについて簡潔にご記載ください> ※ <P3の下段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
ビジネスアイデアチーム	<ビジネスアイデアを実現するためのプレイヤー2※2のチーム構成・役割、および現時点での連携状況を記載してください。>

※1 環境・エネルギー、物流・モビリティ、健康・医療、子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成
※2 企業等 (中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等) を指す。(明確化していない場合は業種などでも可)

応募様式 「様式2 提案書フォーマット」

ビジネスアイデアを可視化するフレームワークである「リーンキャンバス」における**主要5要素**（下記緑色部）を意識することで、記載が比較的容易になるフォーマットとなっております。

※リーンキャンバス解説動画をHP上に公開しておりますので、そちらもご参照の上、提案書をご作成ください

<p>課題</p> <p>上位3つの課題</p> <p>1</p> <p>既存の代替品：</p> <p>現状では、顧客・ユーザーがどういう手段で課題を解決しているか</p>	<p>ソリューション</p> <p>上位3つの機能</p> <p>4</p>	<p>独自の価値提案</p> <p>あなたの差別化要因と注目に値する価値を説明した単一で明確な説得力のあるメッセージ</p> <p>3</p>	<p>圧倒的な優位性</p> <p>簡単にコピーや購入ができないもの</p> <p>5</p>	<p>顧客セグメント</p> <p>ターゲットにする顧客</p> <p>2</p> <p>アーリーアダプター：</p> <p>一番最初に購入・使用してくれそうな人</p>
<p>コスト構造</p> <p>顧客獲得コスト 流通コスト ホスティングコスト 人件費など</p>		<p>収益の流れ</p> <p>収益モデル 顧客生涯価値 収益 粗利益</p>		

応募様式 「様式2 提案書記載例」(2/5)

2. 対象とする社会課題

審査の観点

②課題解決性

アイデア発案の経緯・動機	多くの酒造とコミュニケーションをとってきた中で、若手が就職しても、不規則な労働時間や酒造りの技術習得の難しさから、一人前に育つ前に離職してしまい、次世代の酒づくりの担い手がいない実態を知り、当社の保有している独自のAI技術の強みを活用して、様々な酒造の困りごとを解決することのできる取り組みを推進したいと考えたため
対象とする社会課題	<p style="text-align: center;">課題の詳細</p> <p>純米酒の出荷量は4万2000 キロリットル（1988 年度）から、11万3000 キロリットル（2018 年度）に跳ね上がっている。近年では、海外からの需要も高く、今後、高品質の日本酒の市場はグローバルな拡がりが見込まれ、日本酒製造の安定確保と拡大への取り組みが期待されている</p> <p>その一方で、清酒製造業者の多くを占める中小企業では少子高齢化により、作り手が減少している。東京都における蔵元の90%は多摩地域に存在するが、<u>作り手の減少により高品質の安定生産が今後見込めず、地域ブランドの危機</u>である</p>
	<p style="text-align: center;">課題を抱える対象</p> <p>清酒製造業者。特に少子高齢化が進み後継者が不足している地方の中小清酒製造企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手酒造メーカーは資金力を生かし、自社またはパートナー企業と共同し、日本酒製造にAI等のデジタル技術を活用したDXへの取り組みを始め、日本酒造りの技術継承に取り掛かり始めている ・ 一方で、清酒製造業者の99%を占める中小清酒製造企業（日本全国で約1,400社）は導入に向けた資金や人的リソースが不足しており、かつAI等デジタル技術の知見も乏しく、適切なパートナー企業も存在しないため大手酒造メーカーのような取り組みができず、高齢の職人が製造に関わり続けるしかなく、すぐにでも対応が求められていると考えられる

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

2

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

✓ ビジネスアイデアの対象とする社会課題について、根拠となるデータなどを用いて、記載。

✓ 多摩地域との関連（地域や企業の特徴など）も含めて具体的に記載。

✓ 課題を抱えている対象（=ビジネスアイデアの顧客）

✓ その顧客の対象の規模感に記載。

✓ 上記社会課題に対し、現状どのような対策が取られているか、その対応策がその顧客にとってなぜ不十分か記載。

(参考) リーンキャンバスとの対応

課題	ソリューション	独自の価値提案	圧倒的な優位性	顧客セグメント
上位3つの課題	上位3つの機能	あなたの差別化要因と注目に値する価値を説明した単一で明確な説得力のあるメッセージ	簡単にコピーや購入ができないもの	ターゲットにする顧客
1	4	3	5	2
既存の代替品： 現状では、顧客・ユーザーがどういふ手段で課題を解決しているか	主要指標 計測する主要活動		チャネル 顧客への経路	アーリーアダプター： 一番最初に購入・使用してくれそうな人
コスト構造 顧客獲得コスト 流通コスト ホスティングコスト 人件費など		収益の流れ 収益モデル 顧客生涯価値 収益 粗利益		

応募様式 「様式2 提案書記載例」(3/5)

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション

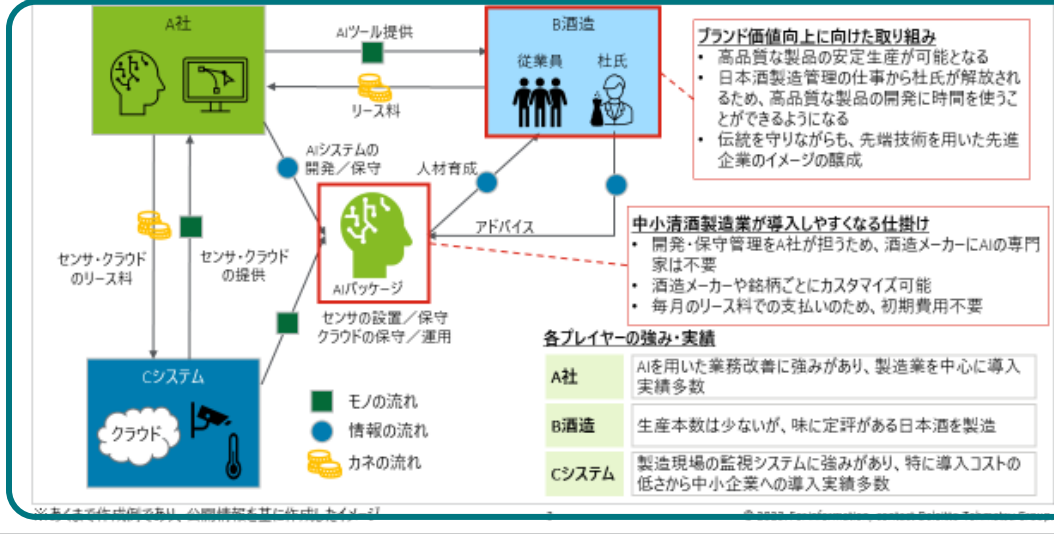
審査の観点
 ③新規性・独自性
 ④実現可能性

提供価値

- 短期的な提供価値
 - 資金やAI知見をもつ人的リソースが乏しい中小清酒製造業者でも容易に導入可能で、人手不足の解消に貢献
- 長期的な提供価値
 - AIが肩代わりした職人の製造管理業務の時間を、高品質な製品の開発など**ブランド価値向上**に向けた施策に活用
 - 客観的・定量的なデータによる酒造りの浸透によって、**短期間での職人育成・技術継承**を実現
 - 将来的には生産性の向上により、職人の賃上げ、きつい仕事のイメージ払拭による**若者の雇用促進**を実現

✓ 社会課題を解決するために、前頁記載の「課題を抱える対象」に対しどのような価値を提供し、その結果、その対象がどのような恩恵を受けるのかについて記載

- ✓ 上記価値を提供するためのソリューションについて、新規性・独自性のポイントがわかるようなイメージ図を記載
- ✓ モノ・カネ・情報などの流れについても可能な範囲で記載



(参考) リーンキャンバスとの対応

課題	ソリューション	独自の価値提案	圧倒的な優位性	顧客セグメント
上位3つの課題	上位3つの機能	あなたの差別化要因と注目に値する価値を説明した単一で明確な説得力のあるメッセージ	簡単にコピーや購入ができないもの	ターゲットにする顧客
1	4	3	5	2
既存の代替品： 現状では、顧客・ユーザーがどういふ手段で課題を解決しているか	主要指標 計測する主要活動		チャネル 顧客への経路	アーリーアダプター： 一番最初に購入・使用してくれそうな人
コスト構造 顧客獲得コスト 流通コスト ホスティングコスト 人件費など			収益の流れ 収益モデル 顧客生涯価値 収益 粗利益	

応募様式 「様式2 提案書記載例」(4/5)

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援

審査の観点

④実現可能性

<p>技術上の課題</p>	<p>ハード面の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> データ解析するにあたって必要十分なデータを取得できる温度センサーおよび専用カメラの選定・カスタマイズ開発が必要 複数の市販の温度センサーやカメラで解析・テストを行い、最適なデバイスを選定し、当アイデア実現のための専用システムとしてカスタマイズ開発を行う <p>ソフト面の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像データや温度センサー等、複数の異なる種類のデータを統合し、酒造メカ・銘柄ごとにカスタマイズ可能なAIモデルの開発や、AIモデルの開発をするための必要なデータ取得および基礎検証が必要 B酒造における対象とする清酒製造プロセスの一部（1ヵ月程度）を複数バッチ並行でデータ取得を行い、数サイクル回しながら、効率的にAIモデルの開発を行う <p>上記課題の対応完了時期は開発着手から約半年を見込んでいる。</p>
<p>法規制上の制約</p>	<p>特定の法規制による本ビジネスアイデア実現の障害はないが、学習済みAI予測モデルの著作権の帰属に関するA社・B社間の交渉が長引き検証を開始できないリスクが存在する</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト初期にA社顧問弁護士を通して協議を行い、学習済みAI予測モデルの著作権の権利帰属ではなく、その利用条件として契約上に明記することで、利用条件に合意したうえでプロジェクトを推進する
<p>希望する費用支援項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> 酒造りのAI導入先行事例調査費(50万円) AIシステム導入にかかるコンサルタント費(50万円)

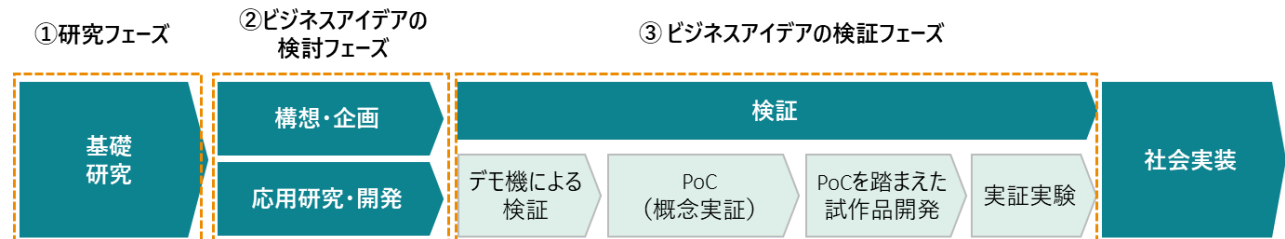
※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

4

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

✓ ビジネスアイデア実現に向けた検証フェーズに進むにあたり、技術上の課題がある（＝研究開発タスクが残っている）場合は、「検証フェーズに進むためにクリアすべき研究開発上のタスクや課題」「そのタスクや課題の対応方針および対応完了見込み時期」について記載

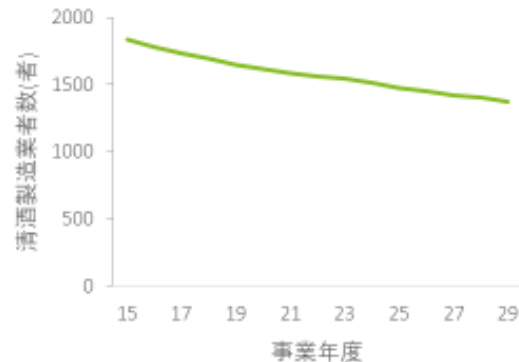
• ビジネスアイデア実現に向けたクリアすべき法規制上の課題がある場合は、該当する法規制およびその対応方針を記載



応募様式 「様式2 提案書記載例」(5/5)

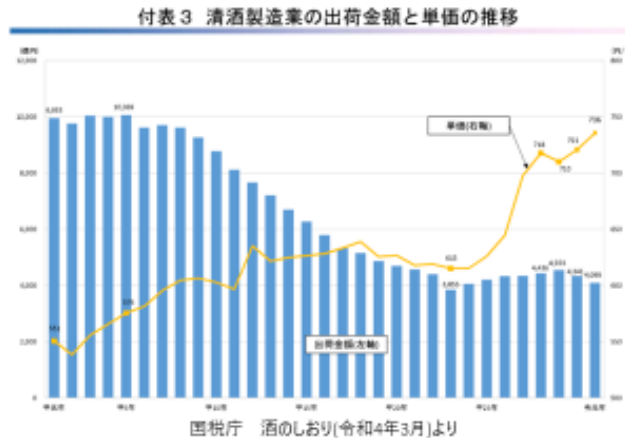
5. その他 (参考資料)

任意



国税庁 清酒製造業の概況(平成30年度分)より作成

上左図)清酒製造業者数の推移より、製造者が年々減少していることがわかる
上右図)清酒の出荷額は減少しているのに対し、単価は上昇していることから、高付加価値の清酒の出荷が増えていることがわかる
右図)東京都の蔵元の多くが多摩地域にあることがわかる



国税庁 酒のしおり(令和4年3月)より



東京都酒造組合 蔵元一覧より

※あくまで作成例であり、公開情報に基づき作成したイメージ

5

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

- ✓ P1～P4までに記載している内容を補足するデータ等があれば本ページに記載
- ✓ 該当するページの本ページに補足情報を記載している点について、注釈を入れる
- ✓ 最大3枚まで追加可能

応募様式 「様式2 提案書記載例」(1/5)

1. ビジネスアイデアの概要

審査の観点 ①事業趣旨との合目的性

重点テーマ	人材確保・育成	
要旨	AI技術を用いた酒造り技術継承サービス	
社会課題	<p>酒造業界の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本酒造りは技術者の感覚や経験、勘が重要だが、勘を養うまで時間がかかり、若者の離職が進み、人材不足が深刻化 中小清酒製造業者では、資金や人的リソース、AI等デジタル技術の知見不足、適切なパートナーが不在などの影響で、大手酒造メーカーのような取り組みができず、高齢の職人が製造に関わり続ける必要があり、早急な対応が求められる <p>多摩地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩地域では都区部に比べ、少子高齢化が進み、職人の高齢化や技術継承の担い手不足が顕著となっている 東京都の蔵元の90%は多摩地域にあるが、高品質酒の安定生産が今後見込めず地域ブランディングの危機である 	
提供価値	資金やAI知見をもつ人的リソースが乏しい中小清酒製造業者でも容易に導入することのできる、安価な技術継承AIによって人手不足の解消、ブランド価値向上、若手雇用促進を実現	
ソリューション	<p>酒造りの工程をセンサーやカメラを用いてデータ化し、AIで分析することで酒造りの技術を容易に習得できるシステムを提供する。安価なシステム、AIの開発・保守を専門メーカーが担当することで、AIの知識がない中小企業でも導入できることが独自ポイントシステムの構成要素としては、以下を想定。</p> <p>データ取得機器：カメラや温度センサーなど データ分析・出力ソフト：データ管理用のクラウド、AI予測モデル、チャットボット</p>	
ビジネスアイデアチーム	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社A社：AI予測モデル、チャットボットの開発 株式会社B酒造：杜氏と連携した酒造り関連データの提供、AI予測結果の評価 株式会社Cシステム：センサを用いた酒造り関連データ取得・見える化・クラウド化 	<p>【応募者】 【連携調整中】 【連携調整済】</p>

✓ P2（社会課題）の内容を簡潔にまとめて記載

✓ P3（提供価値・ソリューション）の内容を簡潔にまとめて記載

✓ ビジネスアイデアを実現するためのチーム構成と役割について記載
（応募時点での調整状況も記載）

✓ 業種・業態でも可

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

1

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

本募集に関して、個別での相談（提案書の壁打ち、マッチングに向けたコミュニティ会員のご紹介等）も承っておりますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

3. Q&A

説明会で頂いた質問と回答

質問事項	回答事項
■ アイデア実現にあたりシステムの開発が必要だが、このようなフェーズで応募可能か。また、一部でも検証のフェーズに入っていると、応募できないということか。	✓ 応募は可能です。検証フェーズに一部少し入っていたとしてもビジネスアイデアの検討フェーズ（構想・企画、応用研究開発）の要素が残っている場合は問題ございません。
■ 連携先の確約が取れない場合での応募も可能ですか。想定して連携先を記載しようと考えております。	✓ 応募段階で確約が取れていない場合でも問題ございません。アイデアの募集であるため、確約が取れていない連携先については、現在の想定（業種・業態など）をご記載下さい。
■ 費用支援について、決算時に購入証明や領収書は必要でしょうか。	✓ 提出が必要になる可能性があり、保管をお願いします。
■ 想定しているアイデアに関して、多摩の中での展開がメインになるのでしょうか。	✓ 多摩の中での展開に限ったものではありません。多摩を活用してビジネスをスケール頂くことを想定しております。
■ 選定後のマッチングの支援に関して地方自治体との交渉窓口になってもらえますか。	✓ 可能です。一緒に連携のためやコミュニケーションについて支援させていただきます。
■ 今回のビジネスアイデア実証は多摩で実施し、その後は多摩を含めて他の地域に展開できるものという形でいいですか。	✓ 問題ございません。
■ 応募内容については新規性がないといけませんか。	✓ 新規性もしくは独自性が求められるとご理解ください。何かしらの目新しさもしくはオリジナリティにより、社会課題解決にとって価値のあるものであるということが求められています。